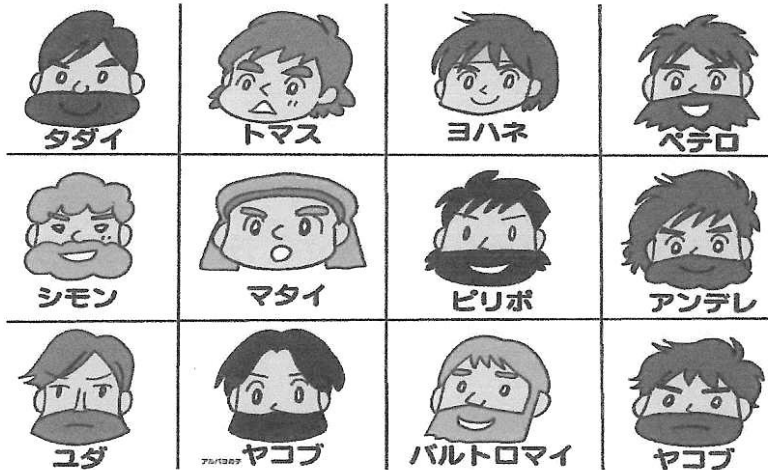


## ＜望まれた者たち＞

マルコ3：13～19

イエス様は弟子達と一緒に山に登り、そこで12弟子を任命した。



「山に登られる」

アブラハムが、我が子イサクをささげたモリヤの山

モーセが十戒をもらったホレブの山

イエス様がモーセとエリヤと会談した変貌山

イエス様と行動を共にするようになった12人は、生まれも育ちも全く違う。

エリートというよりは、一筋縄ではいかない、癖の強いしたたか者

「クセ」は聖別されて「持ち味」に代わる。

「使徒」・・・派遣される者

さて、イエスは山に登り、ご自身のお望みになる者たちを呼び寄せられたので、彼らは

みもとに來た。そこでイエスは十二弟子を任命された。それは、彼らを身近に置き、

また彼らを遣わして福音を宣べさせ、悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。13節

12人は個性溢れる集団！

人間的立場から、全く相いれない者もあった → 熱心党シモンと取税人マタイ

願望を実現するために、イエス様に期待を寄せた者もいた ？！

新改訳聖書 「望んだ者を呼び寄せた」

新共同訳 「これと思う人々を呼び寄せた」

現代訳 「御心にかなう者たちを召し集められた」 英語では wanted

## 【任命の目的】

### ①彼らを身近に置くため

- ・イエス様と寝食を共にし、いつもイエス様を見て学ぶ。ことばで語る以上の教えやメッセージがあった。現場で、見て、実際やって、経験して学ぶ。
- ・自分を知り、神を知る。
- ・弟子に加えられたからこそ、驚きをもってイエス様の偉大な御業を経験した。  
5つのパンと2匹の魚の奇跡／ラザロの甦り／嵐をしずめる

しかし、なんでもできるお方が、あの十字架上では無力になられた！  
何故？ ずっとイエス様のそばで仕えてきた弟子だからこそ、わかったことがある。

十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。

I コリント 1 : 18

### ②彼らを遣わして福音を宣べ伝えさせるため

どこへ遣わされるのか？

わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ。

だから、蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい。 マタイ 10 : 16

狼・・・ ローマの国家権力／大祭司律法学者の宗教権力／家族の迫害  
名誉や成功を約束されたのではなく、かえって苦難がある！

### ③悪霊を追いだす権威を持たせるため

神の支配は言葉だけでなく、力を伴うことを示された。

- ◆ 12弟子は、私たちと変わらない共通点を持った人。失敗だらけでもいずれ成長してイエス様に従っていけるようになる。しかし、イスカリオテのユダのように、イエス様を裏切り離れてしまう人もいたという戒めもある。ユダの弱さは誰もが持っている。

神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい。それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、いのちのことばをしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦勞したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることが出来ます。

コロサイ 2 : 13～16